

## 三菱ガス化学（株）新潟工場 カーボンニュートラルへの取り組み

三菱ガス化学株式会社新潟工場では、以下の取り組みを通じて「2023 年度 GHG 排出量を 2013 年比 38%削減する（GHG 排出量 2013 年度実績：44.0 万 t-CO<sub>2</sub>e、2023 年度目標：27.3 万 t-CO<sub>2</sub>e）」という目標の達成に成功しました。さらには 2030 年度に 46%削減を目指しています。

### 1. 省エネ

化学品製造時に使用するエネルギーの削減を進めます。

### 2. 購入電力の実質再エネ化

2022 年 4 月以降に工場で購入する電力に相当する非化石証書を購入することにより、購入電力の 100%を実質再生可能エネルギーとしました。今後も継続していく計画です。

### 3. 水素ステーション、燃料電池フォークリフトの運用

水の電気分解によって水素を製造する水素ステーションを建設し、水素を燃料とする燃料電池フォークリフト 7 台を導入しました。2023 年度、燃料電池フォークリフトはのべ 849 時間稼働され、従来のディーゼル式に比べておおよそ 4.7 トンの GHG 排出量削減につながりました。モビリティ分野での水素利活用を通して、水素をより身近なものにしていきます。



### 4. バイオマスの利用

工場で製造される製品の一部をバイオマス由来原料から作っています。2023 年度には新潟県のバイオガスを原料に使用しバイオメタノールを製造する計画を立ち上げ、実際に製造することができました。当工場のバイオメタノール、DME、MX ナイロンに対して国際的なバイオマス由来製品の認証制度である ISCC PLUS 認証を取得しました。今後、サプライチェーンでも低炭素の価値を追求していきます。



## 5. CO<sub>2</sub> の利用 (CCUS)

工場で発生する CO<sub>2</sub> をガス田に圧入することで CO<sub>2</sub> の貯留や利用につなげる検討を行っています。

